

朝鮮民主主義人民共和国の核実験に対して

朝鮮民主主義人民共和国（以下北朝鮮）の国営朝鮮中央通信は、本日（2009年5月25日）「地下核実験を成功裏に行った」と報じました。現在、各国政府は核実験が実際に行われたかどうかを確認中ではありますが、これは、追加的な核実験を行わないよう求めた国連安全保障理事会決議を無視しての行為であり、断じて容認することはできません。

「人権、平和、環境」を標榜する私たち曹洞宗は、北朝鮮の今回の行動、および過去の核実験や飛翔体発射などの反平和的な行為に対し、深い憂慮と遺憾の意を表明いたします。今後、北朝鮮が各国との事態収拾にあたり二度とこのような行為を行うことのないよう、そして、対話を通じて平和裏に解決されることを強く望みます。

2009年5月25日

曹洞宗宗務総長

淵 英 徳